

Co-Machi の家（古街の家 ゲストハウス）

Co-Machi の家は、古街にある伝統的な町家を利用した宿泊施設です。古街は宇多津町役場の南側にある旧町の一部です。古街の通りには、多くの歴史ある神社仏閣と伝統的な家屋が点在し、徒歩での散策を楽しめる魅力的なエリアとなっています。Co-Machi の家には 2 棟の建物があり、以前は空き家だったのですが、町がそれらを買取り改修し、現代の生活に必要な設備を加えて 2014 年に宿泊施設としてオープンしました。

2 棟の建物の古いほうは臨水という名前で、1868 年に建てられました。古街を象徴するこの建物は、宇多津の伝統的な家屋によく見られる漆喰の外観が特徴的です。館内に目を向けると、欄間や 1 階の部屋の細かな装飾が建築当時の姿に復元されています。2 階には、かつて屋根裏だった場所を利用したベッドルームがあり、建物を支える太い梁がむき出しの状態で見えます。

Co-Machi の家のもう一方の建物である背山は 1930 年築で、モルタルのシンプルな外観やクルミ材の部屋床など、西洋建築の様式が取り入れられています。内装には欄間などの伝統的な和風の要素も見取れ、この建物がもともとは日本家屋であったことを物語っています。古街の真ん中にあるこの 2 棟の建物は、この町が 1 世紀以上前に迎えた全盛期の景観と様子を、ここを訪れる人々に想像させます。